

จอมโจรสืบหน้ากับปริศนาหัวกะโหลก

江戸川乱歩 著

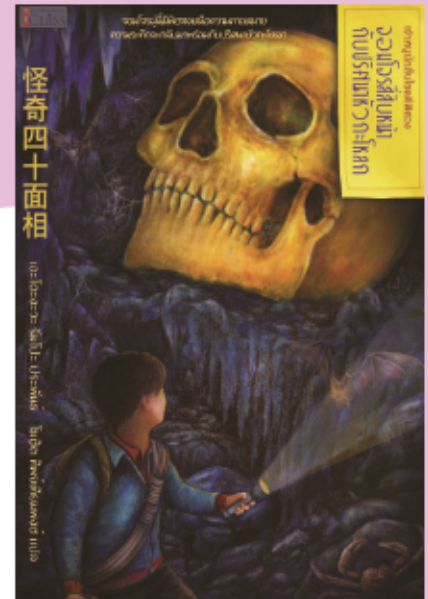
コースイット・ティップティエンボン 訳

JClass

『怪奇四十面相』

タイ文学界にミステリー作家が少ない故に、タイ人読者は海外のミステリー作品に魅了される。2016年に江戸川乱歩の長編小説『孤島の鬼』がタイで出版されて以来、長い間途切れていた『少年探偵』シリーズへの出版復活の声も上がった。そこで私はこのシリーズの『怪奇四十面相』を翻訳し、乱歩独自の世界はタイ人読者から喜んで受け入れられた。

コースイット・ティップティエンボン



エルドラードの孤児

ミウトン・ハトゥン 著

武田千香 訳

水声社

Órfãos do Eldorado

Milton Hatoum

このたびブラジル現代文学コレクションの刊行を開始しました。第一弾『エルドラードの孤児』は、ブラジルの現代文学を代表する作家ハトゥンが現代によみがえらせたエルドラード神話伝説。「発見」以来常に夢と野望の的となってきたアマゾン舞台に、文明と神話的世界が交錯した愛の物語が描かれます。

武田千香



家宝

ズウミーラ・ヒベイロ・タヴァーリス 著

武田千香 訳

水声社

Jóias de Família

Zulmira Ribeiro Tavares

ブラジル現代文学コレクションの三冊目です。一人の初心な若い娘が、生の手ほどきを受けながら女になり、そして老いていく姿が描かれています。タヴァーリスのユーモアと独特な文致を通して描かれる人生の歓びと悲哀、そして社会の擬装性は、何度読んでも、人生のそれぞれの局面で真に迫るものがあります。

武田千香

